



PATEK PHILIPPE
GENEVE

〈報道資料〉

バーゼルワールド2017

パテック フィリップ ジュネーブ

パテック フィリップ、バーゼルワールド2017で2つの記念日を祝うタイムピースの数々を発表

パテック フィリップは、創業以来中断することなく、178年にわたり成功を取めてきた。このため記念日がますます頻繁に訪れるようになるのは驚くに当たらない。ジュネーブのマニュファクチュールパテック フィリップは、重要な記念日を祝うため、記念タイムピースを創作するのが常である。2017年、アクアノート・コレクションは誕生20周年を迎え、これを祝う記念タイムピースが創作された。また超薄型自動巻キャリバー240は今年、誕生40周年を迎える。これを記念して創作された数々のタイムピースは、このムーブメントの多様性を改めて明らかにする。一方、時を超越したビンテージ・デザインの新しい永久カレンダー・モデル、およびアクアノート・トラベルタイムのニューモデルとして創作された最新の《パテック フィリップ・アドバンストリサーチ》モデルは、いずれも輝かしい未来を体現するものである。

パテック フィリップは、アクアノート・コレクション誕生20周年を記念し、18金ホワイトゴールド仕様の5168Gモデルを発表する。これはケース径42.2 mmという新しいジャンボ・サイズの紳士用モデルである。またホワイトゴールド仕様の《パテック フィリップ・アドバンストリサーチ》アクアノート5650モデルは、きわめてエクスクルーシブな技術的ハイライトに輝く、500個限定製作のタイムピースである。今から15年以上前にスタートしたパテック フィリップ・アドバンストリサーチ・プロジェクトは、今日新たな2つの主要な技術革新によって注目される。第1の技術革新は、新しい幾何学形状のSpiromax[®] 髭ぜんまいである。アイソクロニズム（等時性）を向上させる外周の《パテック フィリップ・エンドカーブ》に加え、内端部分も厚く形成することにより、垂直姿勢におけるアイソクロニズムをさらに顕著に向上させ、日差-1/+2秒以内という計時精度を達成した。第2の技術革新は、時計製作で通常用いられるスチールを素材とした《フレキシブル機構》である。これは従来の機械的な関節構造を、十文字型に配置したごく薄い板バネによって置き換えたものである。この結果、タイムゾーン変更機構の部品数を従来の37個から12個へと大幅に減少させることができた。機構が薄型化されただけでなく、磨耗がなく、潤滑油も不要となった。《パテック フィリップ・アドバンストリサーチ》アクアノート5650モデルには、以上2つの技術革新が世界で初めて統合されている。新しい5650モデルはホワイトゴールド仕様、500個限定製作となる。

1977年に発表された超薄型自動巻ムーブメント、キャリバー240は、パテック フィリップの成功を支える主要な柱のひとつであり続けてきた。キャリバー240の誕生40周年を記念し、マニュファクチュールパテック フィリップは数々のエレガントなタイムピースを創作し、このムーブメントの多様性を改めて明らかにしている。

スケルトン仕上げのローズゴールド（5N）仕様カラトラバ5180/1Rモデルは、このタイムピースのためにドラマチックなスケルトン化を施した自動巻キャリバー240を搭載し、このムーブメントに新たなスポットライトを当てる。オープンワーク構造は手彫金による唐草・渦巻模様で豪華に装飾されている。

パテック フィリップ・カラトラバ6006Gモデルは、異例な4～5時位置にスモールセコンドが設けられているという、キャリバー240の興味深い一面を強調している。この時を超越したクラシックなホワイトゴールド仕様のモデルは、きわめてグラフィカルなエボニーブラック・ソレイユ&シルバー文字盤を備えている。



《報道資料》 ページ 2

婦人用カラトラバ・ハイジュエリー4899モデルは、エレガントなタイムピースの創作における超薄型自動巻ムーブメント、キャリバー240の重要性にハイライトを当てる。このきわめて女性的な時計は、ホワイトゴールド・ケースにマザーオブパール文字盤を配し、ピュア・トップウェッセルトン・ダイヤモンドとピンクサファイヤがスノーセッティングされている（貴石の合計個数は702個、約4.35カラット）。この落ち着いた優雅なタイムピースにおいて、搭載されたスリムなムーブメントの存在が欠かせないことはいうまでもない。

少数限定製作のカラトラバ《アズレージョ》5089Gモデルは、アズレージョのモチーフによる七宝文字盤を備えた初めてのモデルである。アズレージョ（Azulejos）とは、ポルトガルでごく一般的に見られる壁面装飾であり、個別に着色された多数のセラミック・タイルから構成されている。アズレージョのモチーフを細密画の技法で文字盤上に再現している。文字盤の下では、超薄型自動巻ムーブメント、キャリバー240が正確な時を刻み続ける。

パテック フィリップの永久カレンダー5320Gモデルは、不朽となるべく運命づけられたニューモデルである。1941年以来、パテック フィリップの永久カレンダーに一貫して見られる文字盤が再現されている。ホワイトゴールド・ケースは、1950年代の伝説的なタイムピースからデザインの要素を取り入れている。曜日・月を並べて窓表示し、日付を指針表示する、新しいキャリバー324SQが搭載されている。

《本資料に関するお問い合わせ先》

PP Japan 株式会社

パテック フィリップ ジャパン

A D & P R ディレクター

大塚和泉

電 話：03-5209-8018（直通）

F A X：03-3256-7558

izumi@ppjapan.com

《ご掲載いただく場合の読者お問い合わせ先》

パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター

電 話：03-3255-8109

《パテック フィリップ ホームページ》

<http://www.patek.com>

